



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月14日

上場会社名 株式会社エスエルディー

上場取引所 東

コード番号 3223

URL <http://www.sld-inc.com/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 有村 譲

問合せ先責任者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 有村 譲 （TEL）03-6866-0245

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期第1四半期	878	△7.0	24	△40.3	25	△38.8	23	△40.0
2026年2月期第1四半期	945	0.2	40	△20.5	40	△18.0	39	△18.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	10.07	—
2026年2月期第1四半期	20.25	—

（注）2026年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。2027年2月第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在していないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年2月期第1四半期	1,008	543	53.9
2026年2月期	1,007	552	54.8

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 543百万円 2026年2月期 552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年2月期	—				
2027年2月期（予想）		—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2027年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,626	△0.8	182	44.4	181	37.8	135	55.0	66.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	1,560,864株	2026年2月期	1,560,864株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	129株	2026年2月期	129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	1,560,735株	2026年2月期1Q	1,560,735株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
(A 種種類株式)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026 年 2 月 期	—	—	—	32,000.00	32,000.00
2027 年 2 月 期	—				
2027 年 2 月 期 (予想)		—	—	32,000.00	32,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(収益認識関係)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、為替変動や米国の通商政策、中東情勢の緊迫化の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、価格改定による客単価の上昇などにより回復傾向にあるものの、原材料費高騰の長期化や人材確保に伴う人件費・求人費の上昇を招いており、業界を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「食で好きをもっと楽しく」の実現を経営方針として掲げ、飲食サービスの健全な成長とコンテンツ企画サービスの拡大を実施してまいりました。

今後は、「販促費や管理システムなどデジタル施策の最適化」や「付加価値向上に伴うプライシング戦略の刷新」、「水道光熱費の全店舗最適化」などの利益創出の取り組みを強く推進することで、引き続き収益性向上に努めてまいります。

(飲食サービス)

飲食サービスにつきましては、すべての店舗においてお客様に安心して飲食を楽しめる空間を提供するために、更なる「CS（顧客満足度）と収益力の向上」を掲げ、集客改善に向けた設備投資などを実施しております。

また、サービス向上のため従業員に対する教育施策やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、人材・店舗資産を有効活用するなど業務の効率化を当第1四半期累計期間においても推進してまいりました。

当社店舗においては、アニメ、音楽アーティスト、キャラクターなどの優良コンテンツとのコラボレーションカフェを複数拠点にて実施し、また、季節毎の魅力的な商品の提供に合わせ、SNSマーケティングなど販促施策を講じることで、お客様の来店動機の創出に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における当サービスの売上高は640百万円（前年同期比3.3%減）となり、直営店舗数につきましては27店舗となっております。

(コンテンツ企画サービス)

コンテンツ企画サービスにつきましては、アニメやゲーム、漫画、アイドル、音楽アーティスト等の優良コンテンツを活用した常設のコラボカフェの展開、他社が経営する飲食店舗の開店支援業務及び運営業務の受託などいわゆる企業間取引（BtoB）のビジネスモデルであるプロデュース事業などへの取り組みを行っております。

キャラクターカフェを中心にインバウンド需要による訪日外国人観光客の集客が引き続き好調を維持し、また、IPの魅力を最大限に引き出すコラボカフェを企画いたしました。SNSを通じた集客施策を推進し、コアファン層はもちろんのこと、ライト層のファンのお客様の来店機会の創出に取り組んでまいりましたが、一部運営受託店舗の改装等による休業ならびに1店舗の店舗運営受託業務契約の終了の影響がありました。

この結果、当第1四半期累計期間における当サービスの売上高は238百万円（前年同期比15.8%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高が878百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益24百万円（前年同期比40.3%減）、経常利益25百万円（前年同期比38.8%減）、四半期純利益23百万円（前年同期比40.0%減）となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して1百万円増加し、1,008百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して30百万円増加し、676百万円となりました。これは主に、売掛金が37百万円、未収入金が17百万円減少したものの、現金及び預金が84百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して29百万円減少し、331百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金が23百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して9百万円増加し、464百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して19百万円増加し、387百万円となりました。これは主に、買掛金が15百万円減少したものの、未払金が7百万円、未払費用が10百万円、資産除去債務が9百万円、その他流動負債が8百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して9百万円減少し、77百万円となりました。これは主に、資産除去債務が9百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して8百万円減少し、543百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が32百万円減少したものの、四半期純利益を23百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月14日の「2026年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	224,393	308,685
売掛金	296,207	258,397
原材料及び貯蔵品	24,231	21,894
未収入金	24,093	6,594
その他	77,345	81,318
流動資産合計	646,270	676,891
固定資産		
有形固定資産		
建物	338,437	338,437
減価償却累計額	△292,661	△295,516
建物（純額）	45,776	42,921
機械及び装置	9,000	9,000
減価償却累計額	△8,999	△8,999
機械及び装置（純額）	0	0
工具、器具及び備品	135,288	135,683
減価償却累計額	△112,669	△115,264
工具、器具及び備品（純額）	22,618	20,419
有形固定資産合計	68,394	63,341
無形固定資産	21	21
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	58,071	58,071
敷金及び保証金	232,530	208,807
その他	1,963	1,607
投資その他の資産合計	292,565	268,487
固定資産合計	360,981	331,849
資産合計	1,007,252	1,008,740

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,157	76,951
未払金	50,686	57,920
未払費用	142,662	153,141
預り金	31,489	34,167
未払法人税等	5,144	1,286
資産除去債務	2,807	12,723
その他	43,145	51,596
流動負債合計	368,093	387,785
固定負債		
資産除去債務	82,772	73,059
その他	4,260	3,984
固定負債合計	87,032	77,043
負債合計	455,126	464,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,876	48,876
資本剰余金	351,808	351,808
利益剰余金	151,609	143,394
自己株式	△168	△168
株主資本合計	552,125	543,911
純資産合計	552,125	543,911
負債純資産合計	1,007,252	1,008,740

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	945,257	878,774
売上原価	185,871	178,452
売上総利益	759,386	700,322
販売費及び一般管理費	718,442	675,884
営業利益	40,943	24,437
営業外収益		
受取利息	0	—
助成金収入	—	300
その他	263	352
営業外収益合計	263	652
営業外費用		
支払利息	222	—
その他	32	18
営業外費用合計	255	18
経常利益	40,952	25,071
税引前四半期純利益	40,952	25,071
法人税、住民税及び事業税	1,286	1,286
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	1,286	1,286
四半期純利益	39,666	23,785

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	5,685千円	6,146千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
飲食サービス	661,874	640,146
コンテンツ企画サービス	283,383	238,627
顧客との契約から生じる収益	945,257	878,774
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	945,257	878,774